

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



WEEKLY

なごや
ちくさ

題字 黒野 貞夫

名古屋千種ロータリークラブ
承認 1982年 8月24日
例会日 火曜日 12:30
例会場 愛知厚生年金会館
事務局 ☎763-5110
会長 黒須一夫
幹事 大口弘和
会報委員長 秋山茂則

No.38

ロータリーを楽しもう！
ENJOY ROTARY！

1989～90年度 RI会長 ヒュー M.アーチャー

第380回例会 平成2年4月10日(火) 晴

◇ “奉仕の理想”

◇ 出席報告

会員 63名 出席 47名
出席率 74.60%
前回 4月3日 (修正出席率)100%

◇ ビジター紹介 6名

◇ お誕生日祝福

小林君(4/13)、江崎君(4/16)
菊池夫人(4/21)、谷口君(4/23)

◇ ニコボックス

安江 敏昭君 本日は生保のPRをさせていただきます。
山本 真輔君 東京都美術館で開催中の第20回日彫展で最高賞の「西望賞」をいただきました。
魚津 常義君、松居 敬二君 ホームクラブごぶさたしました。
久保田 皓君、杉浦 比左夫君 早退します。
小林 明君、江崎 民夫君、谷口 暢宏君 誕生日祝い。
菊池 昭元君 夫人誕生日祝い。
池田 隆君、鈴木 理之君、杉山 貞男君、小坂井盛雄君、中山 信夫君、西尾 正巳君 結婚記念日祝い。

◇ 大口幹事報告

1. 次回例会は、4月15日(日)に変更し、春季家族会を名古屋グリーンテニスクラブにて午前10時より開催いたします。
尚、4月17日(火)の例会はございませんのでお間違いの無いようお願いいたします。
2. 第265地区滋賀湖北RCより認証状伝達式のご案内がきておりますので、参加希望の方は事務局までお申し込み下さい。
3. 5月15日の職場例会は、通常例会に変更となりましたので、お知らせいたします。
4. ロータリーの友4月号がきておりますので、お帰りにお持ち下さい。

◇ 黒須会長挨拶

“私のアメリカ観”

日本、アメリカの関係は、現在貿易摩擦を主体として非常にぎくしゃくしてきました。これには日本には日本の考え方、アメリカにはアメリカの考え方があり、どちらも正当性を主張しております

私は私のアメリカ観を善玉説、原爆、偏見、言葉の問題、国の成立などについて述べてみたいと思います。

1) アメリカの善玉説

世界中の国民は自国はいつも良く、善玉で、他国は悪玉と想定した世界感をもっております。とくにアメリカ人は自分は常に正しく善であり、ナンバーワンである。力によって悪にうち勝つことができるという信仰を人間関係の基礎にもっているようであります。

事実、レーガン大統領はソ連を「非常に大きな力をもっている悪魔の帝国」とよび、その悪魔の力が全世界に影響をおよぼさないよう、アメリカは善玉を代表して世界の検察官として闘っているという世界観があります。一方、アメリカ国内では現在、銃の規則がほとんど行われておりません。

これは身を守るために拳銃をもつ権利があるとの信仰が強いためです。ケネディ大統領が暗殺されようが、レーガン大統領がうたれようが変わりません。

これが世界の検察官としては拳銃の代わりに核兵器をもつべきだ、いや持たなくてはいけないという結論になるのであります。

2) 原爆は神

これは1945年の8月に広島、長崎に原爆が投下されてからすぐに、アメリカで使われた言葉です。

God gave us the bomb(神がわれわれに原爆を与えて下さった)という表現があります。アメリカ人の多くはこの言葉を信じておりま

す。原爆は神と同等の象徴的な意味をもっており、神から頂いたのですから、戦争を止めさせるためには日本に原爆を使うのは当然だと考えていました。良心の呵責をまったく感じなかった人々がいても不思議ではありません。一方では黄色人種だから動物実験のつもりで投下した。換言すれば人種差別とも考えられます。変わらぬ傲慢と偏見と人間愛と人間への憎しみとが一緒になっています。

核兵器開発にたづさわった、アインシュタイン、オープンハイアーなどの核物理学者が尊敬され、賞讃されておりました。

多少の呵責の念は日本敗戦後の食料飢餓の援助物資にあらわれています。

3) 他国に対する偏見

1949年12月8日(アメリカ時間12月7日)日本がハワイの真珠湾を攻撃した結果、当時のアメリカでは卑怯な国、最悪の悪玉になりました。現在のアメリカ人のソ連観と同じようになりました。

神の意志により原爆によって、悪魔日本を破壊し、屈服させた、つまり善が勝った。神が勝ったというように第2次世界対戦を理解しています。

現今の日米間においても、アメリカは善玉の見地から日本の消費者の利益を強調し、公共投資や企業構造までに内政干渉まがいのことまで行い、経済圧力をかけ、日本に対し、対日非難決議を米上院で採択までして日本をしめつけています。これは日米間の問題の処理を複雑にしています。なにしろ核兵器で日本をほろぼそうとしたアメリカです。

すなわち、アメリカ人は自国を絶対的な善であり、ナンバーワンであると信じております。さらに、傲慢と偏見と偽善がその時々々の情勢でソ連、日本が、あるいはベトナムが、イランが悪魔になるという図式になると思います。現在米国民の60%はソ連は友だちになって日本が新しい敵だと考えるようになっています。

16世紀のノストラダムスの予言と同じように、20世紀のアメリカ最大の予言者、エドガ・ケーシーは、1934年に日本は1998年に沈まなければならないと述べております。日本に対するアメリカ人主流のWASPの怨念を代弁しております。(WASP:初期のイギリス、アングロサクソン系白人プロテスタントをさします)

このような考えをアメリカ国民が持ちつづけるかぎり、世界的な強調への道はほど遠いと思います。さらに、原爆は神の与えた武器ではない、神の力そのものではないということアメリカ人に理解させる必要があります。

アメリカ、ソ連の最高指導者を広島、長崎

よんで、原爆自体の被害だけでなく、世界全体、人類全体にとってどんな悲劇を招くかを十分に自覚させる方法をとるよう努力することが是非必要でありましょう。

4) 言葉の問題とその費用

日米間の種々の交渉では現在まで、圧倒的に多くの人々が英語を使ってきました。

このため、日本人は中学校以来ずっと英語を勉強してきており、英語がしゃべれないのが悩みの種になっております。

英語の学習のためには莫大な時間と費用がかかっており、努力もしなければなりません。例えば日本人が外国商社に勤める場合、少なくとも英語は相当出来なければ、雇ってもらえません。反対に米国内で日本の商社につとめるアメリカ人は、日本語学習の必要性を感じているのは10%位で、他の90%は日本語の学習には興味を示さないと聞いております。これは今まで英語で商取引をする慣例、あるいは既得権のためでありましょう。

日本で商売するにしても、アメリカで商売するにしても英語を使わなければならないならば、英語教育に巨額の投資をしている日本側に、投資額に相当する利益を得ることは当然ではないかと私は思っておりますが如何でしょうか。

ちなみに、日本では英語教育のために毎年500~600億ドル以上の金額をかけているといわれています。貿易摩擦では日本にきたアメリカ人がアメリカ流の方法とはちがうといっては文句をいい、日本人がアメリカに行くと今度はここはアメリカだと、アメリカ流にやり方をおしつけられます。このような一方的なやり方は納得がいきません。

5) アメリカ国の成立

アメリカ合衆国は歴史的にみて少し乱暴な言い方をすれば、移民の集団が先住民族であったアメリカ・インディアンの土地を侵略することによって既成事実をつみあげてできた国家といえるでしょう。

悪人でないインディアンを白人が種々の権謀術策をとって隅の方におしやったり、殺したりして、善玉の白人がすばらしい新天地を開く西武劇は、彼等の反省がないことを如実に示しております。これは過去のヨーロッパ先進諸国のアジア、南アメリカ、アフリカにおける長い侵略の歴史をみても珍しいことではありません。善玉、悪玉の定義も彼等の考え方によって変わり、あやふやなものです。

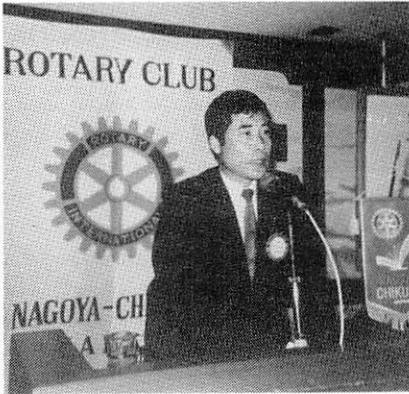
ともあれ、国と国とのつきあいは平和的に行い、どんな場合でも武力を使わないという原則を確立する必要があります。と同時に今までの不公平な慣例や既得権は是正し、お互いに歴史をふりかえり、被害を与えた国

には十分な配慮を行うことが必要ではないでしょうか。

◇講演

“生命保険業界の資産運用の現状と
社会公共活動について”

会 員 安江 敏昭 君



今日は自分の職業に関する話しをせよ、とのことですので、最近世間をお騒がせしています“生保マネー”の現状と、ロータリーの場にふさわしい話題を、ということが、生保の社会公共活動の現状の2点にポイントを絞ってお話しさせていただきます。

まず、生保の資産運用の現状についてですが、生保25社の総資産は約110兆円です。この資金を保険料の予定計算の際の利回りより、できるだけ高く運用し、その収益を配当金として契約者に還元して契約者の実質保険料の負担の軽減をはかることが、保険会社の資産運用の最終目標であり、この目標に向かって百兆円を超す資金が貸付金、株式、債券、不動産など様々な形で効率的にまた安全、確実に運用されています。最近の運用状況をみますと、主なものは企業などへの貸付金に35%程度、株式に20%、債券に25%、不動産に6%などとなっています。このうち、特に最近注目を集めております株式投資につきましては、株式配当金の収入だけでなく、売却益を得ることも目的として純投資の立場で実施しており、これらの利益は配当金として契約者に還元されるほか、「特別配当」として長期継続の契約者への優遇配当の財源となっています。尚、生命保険会社が保有している株式は上場株式の15%程度にのびります。

次に、生保の不動産投資といえはすぐ土地の買い占めなど悪いイメージを持たれている方も多いと思いますが、生保の不動産投資はその資金の長期性から超長期運用を前提とし、主としてオフィス用のビルの賃料収入を安定的にあげていくことを狙いとしています。最近の特徴としては、新借地方式・共同ビル方

式が多くなっており、これらの方式では土地の売買が伴わない為、地価高騰を招かないという利点があります。また地方公共団体等とタイアップして大規模な都市再開発事業にも積極的に参加しています。日本生命グループが事業主体となっているNHK名古屋放送センタービルはNHKによる民活第1号条件として有名です。

次に2番目のテーマである「生保の社会公共活動」について述べたいと思います。まず業界団体である生命保険協会が業界レベルで行なっている事業からご紹介します。生保協会では生保事業の社会性・公共性に鑑み、従来からさまざまな社会公共福祉活動を展開していますが、最近の取組みとしては、介護老人問題への支援活動（具体的には①介護福祉士養成奨学金制度の実施 ②家庭向け介護ビデオの制作・寄贈 ③移動入浴車の寄贈 ④介護福祉分野に関する調査研究の助成など）、アジアの留学生に対する私費留学生奨学金制度の創設などがあります。

協会レベルの取組みの他に、各生保会社も独自に利益の社会還元に取り組んでいます。時間の関係でここは日本生命の取組みについてのみご紹介します。日本生命では業界のリーディングカンパニーとしての自覚のもとに、健康・医療活動、スポーツ振興、老人福祉等々幅広い取組みを行なっていますが、その中で「日本生命財団」の活動と「ニッセイ名作劇場」の2点についてご紹介します。日生財団は創業90周年の記念事業として10年前に設立され、百億円の基金の運用益をもとに、児童青少年の保護育成、高齢者の福祉と社会参加、環境の改善と健康の増進等を対象に、毎年7億円規模の助成を行なっています。中でも児童福祉関係への助成のうち、愛知県下の各種団体に対しては、過去111件、約1億円強の助成実績となっています。又、地域文化の振興を目的に、名古屋市博物館をはじめ全国各地の博物館の総合案内の編集・出版を行ない、当該博物館へ寄贈する等の活動も行なっています。

一方、ニッセイ名作劇場は、すぐれたミュージカルの鑑賞を通じ、子供達の情操を豊かに育むことを願い、S39年から東京の日生劇場はじめ名古屋を含む10都市の劇場で、小学校6年生を全員無料招待して、劇団四季の本格的ミュージカルを鑑賞していただいています。S39年以来招待されたこども達は330万人に達しています。尚、今年の名古屋市での公演は6月6～9日、名古屋市民会館で約1万3千名の市内小学校6年生を招待する予定です。

以上、大変手前ミソの話しとなり恐縮です

が、生保に対する理解を少しでも深めていた
できれば幸いです。

◇半田RC 田中 徹氏著書

「ロータリーを愛す」より

ロータリーの友情

友情には人格、才能、知識などの人としての
魅力にひかれる友情と何んとなき気が合う、
馬が合うという友情があるようだ。

誰れもが友人はいるが、はたして心を許し
合える友人は何人居るであろうか。

辞典によれば友情とは友人として相手を思
い裏切らぬ真心とある。

前者はその人物に傾倒するので裏切ること
も少いが後者は単に気が合うだけだから責任
のない友情である。

ロータリーでは会員同志この友情を高める
ことが奨励され友情のないところに奉仕はな
いとまで言われるが、はたしてロータリーで
云う友情とは何んならうか。

実はこの友情を左右するものに人間の性格
がある。一口に性格と云ってもそれぞれ個
性があるので理論構築はむづかしいが大きく
分けると情緒系、行動系、知性系であろう。
情緒系は環境に受動的、倫理感是人情的で物
事に対しては是非々々のタイプ。行動系は環境
に対し能動的で積極生、倫理感は秩序尊重形
で短絡傾向である。知性系は環境に対し調整
を重んじ抵抗には迂回する。義理がたいタイ
プ。然しこれらが混在しているのが人の性格
で一概には言えないが少くとも気が合う、ど
こか馬が合って好きになれる友情は互いに同
じような素質を持ち合わせていると考える。
待ち合せが多ければ友人づき合いも長いし、
少なれば単なる話し相手である。人間の魅
力に把われる友情は多分に知性的、倫理的で
多くは友情が尊敬、敬服に発展してゆく。

ロータリーでは会員は顔が違ふようにこの
性格も異なるわけで全員が互いに自然発生的
に友情を深めることは困難である。ではロー
タリーでいう友情とは何か、それは奉仕の理
想を求め合う — 目標を同じくした人間対人
間の心だと思う。

例会で委員会地区大会で同じ目的の人々
が人としての真心で接し合う、これがロータ
リーの友情だと思っている。性格が違おうが
似ていようがこれは問題でない。奉仕への真
心こそが問題なのである。心と心が接し合う
うちに気も合ってくるであろうし、その人の
魅力も感じて来よう。

昔のホトトギスにこんな俳句があった。

熱燭や性相反し相許し

性格は全く異なっても心を許し合う仲だとい
うのである。ロータリーも知り合う — 理解
し合ううちに心を許す友人ができる — それ
がロータリーでいう友情だと思っている。

従って単なる友達と友達との情ではない。
目的を同じくした人と人との真心の結びつき
これが友情なのである。

—— 市内15RC社会奉仕委員長会議 ——

4月10日(火) 於 東山植物園



今回の社会奉仕委員長会議は、お花見を兼
ねて計画されましたが、例年になく早い開花
のため、遅咲きの桜が残っている中を、瀬川
園長の案内で見学した後、懇親会といたしました。

~~~~~ 今週の言葉 ~~~~~

勝利者は常にあきらめない  
A Winner Never Quits

上野 保

漁夫の生涯竿一本

魚津 常義

◎ 自ら活動して他を働かしむるは  
水なり

◎ 常に自己の進路を求めて止まざるは  
水なり

吉田 節美

◇例会変更のお知らせ

名古屋東南RC 4/26(木)夜間例会の為、  
PM6:00より

◇次回例会(4月15日)

春季家族会

名古屋グリーンテニスクラブにてAM10:00  
より

◇次々回例会(4月24日)

講演 “第2回 美シリーズ 彫金”  
会員 佐野 寛 君